修学旅行新聞

3年4組

小坂

○金閣寺○

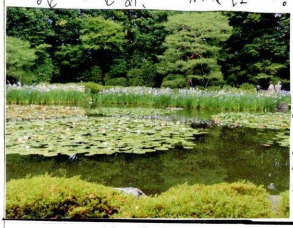
主に「金閣寺」と呼ばれている建物は、お釈様のお骨をまつった舎利殿「金閣」だ。金閣の二層と三層は、漆の上から純金の箔が貼ってあり、屋根は槙の薄い板を何枚も重ねたこけら葺で、上には鳳凰が輝いている。実物は、写真などで見るよりも段違いに美しくきれいだ。

○八坂神社○

朱塗りの門が印像的な八坂神社は、厄除けや疫病退散、商売繁昌などのご利益を授かることができる京の守り神。神社の敷地の中には、ぬるときれいになれるご利益のある、「美容水」などがある。

○平安神宮○

桓武天皇を祭神としている平安神宮の社殿は平安朝正庁の朝堂院を8分の5スケールで再現しており白砂を敷きつめた境内に建つ朱と緑の殿舎が美しい。また、神苑では四季折々の植物が植えてあるため、季節ごとに違った景色を楽しむことができる。



○清水寺○

世界文化遺産にも登録されている清水寺は、年間600万人以上が訪ずれる、京都で一番の観光地。国宝である清水の舞台から見ることができる景色は、季節ごとに違った顔が楽しめる絶景だ。清水の舞台の下方にある音羽の滝は右から「延命長寿」「恋愛成就」「学問上達」にご利益のある三本の水が流れている。しかし、二口飲むと半分のご利益に、三口飲むと三分の一のご利益になってしまうといわれている。

○三十三間堂○

三十三間堂にある仏像は、どれもほぼ人間の高さぐらいで165~167センチ。甲冑を着て武器をもった者や、怒った形相の者、天衣をまとった美しい姿のものまですべて等身大で迫力のあるものばかりだ。この大仏は全部で1001体あり、この中に探している人に似ているものがあるといわれている。また、この三十三間堂という名前は、本堂の観音立像が並ぶ内陣の柱の間が33あることからついたといわれている。本堂には観音菩薩のほかにも、鎌倉時代につくられた風神雷神像がまつられている。

○嵐山○

古くから歌枕として多くの歌に詠まれているように、春は桜、秋は紅葉の名所として有名。また嵐山を走るトロッコに乗ると、桂川の絶景が続き、とても感動しました。

○東大寺○

東大寺は、日本を代表する寺院の一つであり、世界遺産に登録されている。国宝であり、現存する日本最大の金銅の古仏である大仏、盧舎那仏がまつられている本殿は戦国時代に戦火によって二度焼かれたが、そのつど再建されてきた。そのため、今の東大寺は、昔よりも小さくなっている。また、今まで教科書やテレビなど、様々な所で目にしてきた大仏や金銅九十八像を実際に、実物を見るというのは、すごく感動が大きかった。

～感想～

私は、この修学旅行を通して、様々なことを学ぶことができました。友達と力を合わせ、何かをなしとげることの大切さ、きちりとしたスケジュールの中で動く重要性、そして大変さ、前からわかっていたつもりだったけど改めて学ぶことができたと思います。先生に注意されたり、班の中でもめたりすることもあったけれど、とても楽しく、充実した3日間を過ごすことができました。また機会があれば、今回まわることができなかった場所にも行ってみたいと思いました。

～今回訪れた名所～

奈良	京都
・東大寺	・嵐山
・法隆寺	・清水寺
	・京都タワー
	・金閣寺
	・三十三間堂
	・平安神宮
	・平等院鳳凰堂
	・八坂神社
	・龍安寺

京都・奈良へいざ出陣
～古都し、一番の旅に出かけよう